

第2次庄内町花き振興計画の策定について

令和2年3月 庄内町農林課

策定の目的

平成20年3月策定（平成28年3月改訂）「庄内町花き振興計画」について、計画に基づく花き振興施策の総括や、本町花きを取り巻く現状等踏まえた上で、「世界一品質の高い花づくり」により高所得を得られる、今後の本町花き振興に向けた取り組み方針を示した新たな振興計画を策定する。

【参照・根拠】花き振興に関する法律（平成26年法律第102号）・山形県花き振興計画（平成29年3月）

■現 状

- ・栽培戸数、栽培面積、販売額、出荷量など、いずれも平成20年代に入り年々減少。（特にトルコギキョウで大幅減。）
- ・家族経営が中心で、規模拡大が困難。
- ・種苗センター苗供給量も花き生産同様に減少傾向。

◎現状（目標未達の要因）

- ・土壌病害の発生による休耕、離農。
- ・花き生産者の高齢化
- ・花き、米生産者の後継者不足（若手花き生産者への農地集積）
- ・多発する異常気象と災害。

■課 題

- ・栽培面積の拡大と生産者数の増加
新規生産者や後継者の確保育成、既存生産者の面積拡大
- ・生産性及び品質向上
高品質安定出荷に向けた栽培技術の導入、病害対策徹底
- ・知名度・PRとブランド化
産地間競争に打ち勝つための庄内町産花きブランド化
- ・施設の活用（種苗センター）
施設の老朽化、施設の機能が十分に発揮されていない
- ・行政による支援
補助事業の成果として、花き振興につながっていない

取組目標

※第1次計画 目標値
販売額 H30 4.2億円
出荷本数 H30 477万本

【販売目標額】 H30実績 2.5億円 ⇒ R8 4.6億円

【出荷本数】 H30実績 280万本 ⇒ R8 488万本

【花き栽培農家数】 H30実績 / 131戸 (R1/126戸) ⇒ R8 138戸

花き生産振興に関する基本的な考え方

■基本方針■

- ①産地拡大と生産者数の増加
- ②生産性及び品質向上
- ③知名度・PRとブランド化
- ④施設の活用（種苗センター）
- ⑤行政による支援
- ⑥需要拡大の推進

意欲ある新規生産者や後継者の確保・育成／規模拡大に向けたニーズ把握／花き試験ほ場導入事業
高品質安定生産出荷が可能な最新栽培技術等の導入／生産性の高い品種の選定／土壌病害対策推進
主力品目（ストック、トルコギキョウ）を中心とした消費者へのPR
本町花きの最大の特徴「種苗センター」での高品質苗供給／施設維持と機能増強／利用者拡大
生産や流通等生産者のニーズに応える効果的な支援（ハード・ソフト）
庄内町産花きのPR（庄内町花き振興会やJAとの連携・花き展示・SNS）／花育による消費拡大

※主要品目別

ストック：直播栽培等省力技術導入による栽培面積拡大、温度管理技術や開花調節技術等導入による生産の安定 ほか

トルコギキョウ：土壌消毒等の適正な実施及び適正な施肥管理技術の推進、市場や実需者の要望に応える安定供給体制整備、試験圃場を活用したPRによる農家数・面積拡大 ほか

スプレーギク：新規栽培者の育成、作期拡大と経営面積の拡大 ほか